

【ご報告とお礼】 カンボジア王国より「友好勲章」を受章

カンボジア王国は、河合塾が教育支援活動を続けてきた功績に対し、(学)河合塾理事長河合弘登へ「友好勲章 大十字章」を授与することを決定。8月19日「カンボジア-日本友好学園」にて叙勲式が執り行われました。河合塾グループでは社会貢献活動として2000年より「カンボジア-日本友好学園」を通じ、カンボジアの小中学校への教育支援を続けて参りました。

多くの方のご支援あつての受章であり、これまでご協力いただいた皆さまにご報告とともに深くお礼申し上げます。



(学)河合塾理事長 河合弘登(右)
河合塾カンボジア教育支援活動代表 大脇淳(左)



「友好勲章 大十字章」と感謝状

※「友好勲章 大十字章」

友好勲章はカンボジア王国に貢献した外国人に与えられる勲章で、文化・教育関係の最高位のものです。

「カンボジア教育支援活動」 <http://www.kawaijuku.jp/sr/contribution/cambodia/>

1970年以降のカンボジアの内戦はカンボジアをことごとく破壊。特に知識階層の人々はポル・ポト派の手によって多くが拷問の末虐殺され、国の教育は壊滅状態となりました。ポル・ポト派の虐殺の手から九死に一生を得て日本に亡命したカンボジア人コン・ボーン氏は「国の復興は教育から」と学校再建を決意。ポル・ポト政権前に共同通信社プノンペン支局長を務めた故村井孝至氏とともに「カンボジア教育支援基金」を設立。これに賛同した日本のボランティア団体が支援に乗り出しました。

河合塾でも教育において困っている人を支援しようと2000年より「カンボジア-日本友好学園」を通じ、教育環境を少しでも改善するお手伝いがしたいという気持ちから、生徒からの寄贈中古文具や、河合塾の机・椅子を贈るなどの支援や、交流活動など様々な活動を続けて参りました。

友好勲章の叙勲式典の様子

8月19日、カンボジアのプレイベン州にある「カンボジア-日本友好学園」にて友好勲章の叙勲式典が執り行われました。式典には、河合弘登理事長の代理として河合塾カンボジア教育支援活動代表の大脇淳が出席。カンボジアのシハモニ国王から託された勲章を、ソー・ケン副首相から渡されました。



式典で挨拶するソー・ケン副首相



カンボジア ソー・ケン副首相より友好勲章を受勲
河合塾理事長代理カンボジア教育支援活動代表大脇淳